

令和3年2月17日

## 「第18回文化庁文化交流使フォーラム」の開催 ～日本の心を世界に伝える～ (文化庁「文化交流使」活動報告会)

文化庁では、平成15年度から、芸術家、文化人等、文化に携わる人々を「文化交流使」に指名し、世界の人々の、日本文化への理解の深化につながる活動や、外国の文化人とのネットワークづくりにつながる活動を展開しています（別紙1参照）。この度、令和元年度に世界各国へ派遣された「文化交流使」6名が、海外で行った実演やワークショップ等の活動やその成果について報告を行う「第18回文化庁文化交流使フォーラム」を、下記のとおりオンラインにて開催いたしますので、お知らせいたします。

### 1. 日程

令和3年3月10日（水）14:00～16:40

### 2. 開催形式

オンライン（ライブ配信）

※イノホールでの開催となりますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場はプログラム関係者のみとさせていただきます。

### 3. 出演者 ※敬称略、50音順

#### 【文化交流使】

黒田 鈴尊（尺八奏者）

清水 利仲（両口屋菓匠 取締役顧問）

田村 圭吾（京料理 萬重若主人、全国芽生会連合会 監事）

中村 京蔵（歌舞伎俳優）

三谷 純（筑波大学 教授）

森 隆宏（盆栽師）

#### 【モデレーター】

鶴田 真由（女優）

### 3. ライブ配信視聴申込方法

視聴をご希望の方は、下記 URL より事前にお申込みください。申込された方へ視聴案内をメールにてお送りいたします。

【申込 URL】 <https://culturalenvoy.jp/>

【申込受付】 令和3年3月8日（月）正午まで

4. 取材申込方法

会場にて取材を希望される場合は、別紙2の取材申込書にて3月9日（火）15：00までに、メールまたはFAXでお申込みください。

<担当> 文化庁文化経済・国際課

国際文化交流室長：鈴木 律子（内線 3153）

国際文化交流室専門官：徳留 丈士（内線 3167）

電話：03-5253-4111（代表）03-6734-3110（直通）

FAX：03-6734-3816

文化庁文化交流使事業について（概要）  
(Japan Cultural Envoy)

【目的・趣旨】

諸外国における日本文化への理解や日本と諸外国の芸術家・文化人等の連携協力を促進し、もって国際文化交流の振興を図るため、文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間諸外国へ派遣する「文化庁文化交流使事業」を実施している。

【事業の概要】

「文化交流使」の活動の概要は以下のとおり。

①概要

芸術家・文化人等を海外へ派遣し、実演、実技指導、講演、講義、上映、展示、共同制作、情報交換等を行う。

（芸術家・文化人等には、複数の芸術家・文化人等で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。）

②指名期間

原則として1か月以上12か月以内（最長1年）

※1か月につき8回以上、文化交流使としての活動を行う。

③文化庁の負担

交通費、現地滞在費（定額の宿泊費と日当）、現地での活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）等

【活動実績】

平成15年度から令和元年度までに、延べ143名と26組（団体）の文化交流使が世界88か国以上で活動を行った。

※実績は、現地滞在者型（平成15年度～平成21年度）及び短期指名型（平成20年度～25年度）を含む。

【「文化交流使」の指名手続】

「文化交流使」は、「文化交流使」事業委員会<sup>※</sup>の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

（※「文化交流使」事業委員会は、「文化交流使」事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会で、学識経験者、関係行政機関等から構成される。）

「第18回文化庁文化交流使フォーラム」  
取材申込書

1. 日時

令和3年3月10日（水）14:00～16:40

2. 会場

イイノホール

（東京都千代田区内幸町2-1-1 飯野ビルディング4階）

3. 取材申込方法

会場取材を希望される場合は、必要事項を明記の上、3月9日（火）15:00までに、下記担当までメールまたはFAXでお申し込みください。

<取材申込先>

文化庁文化経済・国際課国際文化交流室

専門官 徳留 丈士 （内線3167）

振興係員 成山 玲子 （内線3110）

電話：03-5253-4111（代表）03-6734-3110（直通）

FAX：03-6734-3816

メール：int-culturalexchange@mext.go.jp

【取材内容記入欄】

■ ご所属

■ ご担当者名及びご連絡先（TEL またはメール）

（全ての方のお名前を記入してください。）

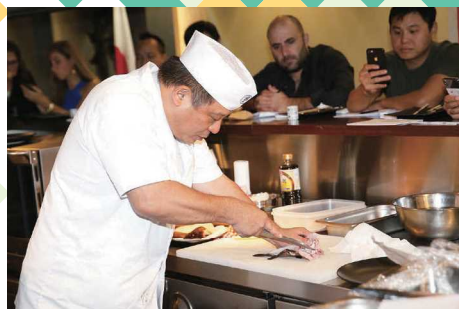
■取材内容に✓を付けてください。

カメラ

動画 台 / スチール 台

ペン

その他（個別取材などを御希望の場合は、取材対象者を御記入ください。）



写真提供: ホルヘ・クリストバル

第18回

# 文化庁 文化交流使 フォーラム



文化庁文化交流使活動報告会

The 18th Japan Cultural Envoy Forum

ライブ配信

2021年3月10日 [水]

14:00 ~ 16:40

視聴無料・事前申込制



主催  文化庁  
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

<https://culturalenvoy.jp/>

 [JapanCulturalEnvoyForum](https://www.facebook.com/JapanCulturalEnvoyForum)

 文化庁  
文化交流使  
Japan Cultural Envoy

# 第18回 文化庁文化交流使フォーラム

文化庁文化交流使  
活動報告会

文化庁では、日本文化の発信を目的に、芸術家、文化人等を「文化交流使」として海外に派遣しています。

## モデレーター



### 鶴田 真由 女優

1988年女優デビュー。その後、ドラマ、映画、舞台、CMと幅広く活動。1996年には「きけ、わだつみの声」で日本アカデミー賞優秀助演女優賞を受賞。近年はドラマ『マルモのおきて』『酔いどれ小藤次』『株値暴落』『犯罪症状群』『日本ボロ宿紀行』、映画「さよなら深谷』『64-ロクヨン』『DESTINY鎌倉ものがたり』『海を駆ける』『日日は好日』など話題作に出演。旅番組、ドキュメンタリー番組への出演も多く、番組出演がきっかけで、2008年第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)の親善大使に就任。

## プログラム

- オープニングアクト
- 開会挨拶（文化庁長官）
- 活動報告（文化交流使6名）
- エンディングアクト

## 出演者



### 黒田 鈴尊

尺八奏者

Photo by Ayane Shindo

人間国宝二代青木鈴慕、三代青木鈴慕に師事。国際尺八コンクール2018inロンドン優勝。利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞。国際現代音楽祭ARS MUSICAにて武満徹「November Steps」や新作尺八協奏曲を演奏。毎年世界中での独演会や数多くの委嘱新作、オーケストラとのコラボレーションを通じ尺八の今とこれからの無限の可能性を追求。CDやTV、歌舞伎公演などにも音源提供多数。アンサンブル市町、邦楽四重奏団(1st CDはレコード芸術誌にて特選盤)、1÷0、The Shakuachi 5、Rigarohie5メンバー。



### 清水 利伸

両口屋菓匠 取締役顧問

卒業後、両口屋菓匠にて和菓子職人として勤務。現在取締役顧問。2014年ものづくりマイスター認定(菓子製造)を受ける。製菓学校等での指導も積極的に行っている。2011年から世界に向けて和菓子の啓蒙活動を始める。健康でヘルシーな和菓子「食の文化遺産」を再認識し、和菓子とともに豆の文化「小豆・大豆」を世界に広めるため、フランス、アルザス地方で小豆作りを指導し、伝統的和菓子作りを紹介している。また、フランス、パリで和菓子講習会を定期的開催している。三河和菓子技能士会 技術顧問。和菓子研究団体名和会 副会長。



### 田村 圭吾

京料理 萬重若主人  
全国芽生会連合会 監事

京都西陣の萬重(創業昭和12年)の長男として生まれ、幼少期より家業の手伝いをし、各地で修業後家業に従事。業界では「日本料理アカデミー」に設立と同時に参加。地域食育副委員長として全国の小中高大学生に指導を続け、京都市教育委員会の推進委員も務める。京都料理芽生会会長を平成29年から務め、同全国連合会の副理事長を歴任し現在、同全国連合会の監事。海外では和食文化普及のため、フランス、イタリア、ハワイ、マレーシア等でも腕を振るう。野菜ソムリエ京都を立ち上げ、現在顧問を務める。京都観光おもてなし大使にも就任。



### 中村 京蔵

歌舞伎俳優

1972年大学卒業後、国立劇場歌舞伎俳優養成所の第6期生となる。1982年研修修了後、同年9月に四代目中村雀右衛門門下となり、中村京蔵を名乗る。1994年4月、歌舞伎座にて名題昇進。歌舞伎座や国立劇場等での国内公演のほか、欧州、米国、大洋州、東南アジア等海外での国際交流基金主催の歌舞伎レクチャーデモンストレーション公演で、様々な国での歌舞伎の普及に務める。2005年11月、伝統歌舞伎保存会会員に認定。現在、国立劇場歌舞伎俳優養成所講師。



### 三谷 純

筑波大学 教授

2004年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。2005年に理化学研究所研究員、2006年筑波大学システム情報工学研究科講師を経て、2015年より現職。2006年から2009年に科学技術振興機構さきかけ研究員として折り紙の研究に従事。コンピュータを用いた折り紙の設計技法などに関する研究を行っている。子どものころから紙工作とコンピュータが大好きで、それがそのまま現在の研究テーマにつながった。日本折紙学会評議員も務めている。著書に『立体折り紙アート～数理がおりなす美しさの秘密』『曲線折り紙デザイン』(日本評論社)などがある。



### 森 隆宏

盆栽師

大学を卒業後、「勝田光松園」にて故塚原幸次氏に師事。2009年、由緒ある国風盆栽展で職人として手がけた作品が国風賞を受賞。2009年から2013年、さいたま市大宮盆栽美術館の専属盆栽技師。2013年、欧州文化首都2013コンツェにて盆栽デモンストレーター。第8回世界盆栽大会(2017年開催)のさいたま誘致プレゼンテーションに盆栽師代表プレゼンターとして参加。現在、2013年に構えたアトリエ「盆栽もり」にて盆栽師の仕事に従事する傍ら、初心者を対象にしたワークショップを行うなど国内外で普及活動にも取り組む。

## ライブ配信視聴 申込方法

視聴をご希望の方は下記URLよりインターネットにて事前にお申し込みください。

- 事前申込された方へ開催前日までに視聴案内をメールにてお送りします。
- ライブ配信は、インターネット上の動画配信プラットフォームを使用いたします。インターネットに接続されたPCまたはタブレット・スマートフォンをご用意ください。

〈インターネット申込〉 <https://culturalenvoy.jp/>

申込受付: 2021年3月8日(月)正午まで



## お問合せ

「第18回文化庁文化交流使フォーラム」  
受付事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2  
大同生命霞が関ビル14階  
日本コンベンションサービス株式会社内

TEL : 03-3502-6872

E-mail: [jcef2021@convention.co.jp](mailto:jcef2021@convention.co.jp)